

昭和区彩りごと

区長に聞く！

川原学区／河西英雄さん

堀井伸夫さん
今井典子さん

5,319世帯
10,095人
※令和2年3月1日現在

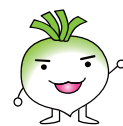
いろいろ
聞かせて
ください！



舟橋 洋一 昭和区長

区長が昭和区内の学区を巡り、
街の魅力を伝えます。

川原学区のスローガンは「明るいまいさつ 楽しいふれあい 元気な川原」、「学区の行事を通してひとりでも多くの顔見知りを作る」。この2つのもと、交流を深めています。



「もしも」のとき、助け合える
顔見知りの多い街づくり

区長／川原学区は学区内の行事が多いです。どんな目的があるのでしょうか。

河西さん／一人でも多くの顔見知りをつくるのが、災害発生時の安心につながったり防犯対策につながり、さらには高齢者、子育て世代の安心につながります。現在、学区では「ミセンまつりや盆踊り、ふれあい会食会など月に一度以上のペースで行事を開いています。これは、参加者が顔をあわせ覚えることで、どこに誰が住んでいるかなどの情報を区民同士が把握するため。また、日ごろから顔を知っていれば困ったときや有事の際にスムーズに助け合うことができます。

堀井さん／周辺の人の顔を知るのももちろん、一方で自分の顔を知ってもらうことも大切です。「地域に知ってもらおう」というのは暮らしの安全面で重要ですね。そのために、我々はこれまであまり行事に参加しなかったが、約40年ぶりに盆踊りを再開しました。約600名の参加があり、大きな輪になってみんなで踊りを楽しみ交流しました。こういったように、新しい行事も始

まっています。

区長／老人クラブ「NAC川原」や地域を支える活動も非常に盛んですね。

堀井さん／老人クラブや子供会など、さまざまな会が活動しています。調整して「つひとつの行事を完成まで導いているのは事務局のみなさん。今井さんを中心に若いお母さんたちも参加してくれています。

今井さん／新成人を祝う会を開いたところ、多くの新成人が集まってくれました。やって良かったという気持ちになりました。働くお母さんとも増えているので、子育て世代の意見を聞きながら行事構成を考えています。参加するのも楽しいですが、当事者として運営に携わると苦労はあっても達成感や連帯感が一層増しますね。今後は老人クラブの会員数をもっと増やしていきたいです。カラオケやコーラス、華道などさまざまな活動をしているので参加して、顔見知りをつくってほしいです。

堀井さん／川原学区では市内でも早い段階で「青色防犯パトロール」を始めました。回転灯をつけた車が0の日に出勤し、地域を見守っています。ほかにも「助っ人川原」は「ミセン」に相談窓口を開設し住民の相談・困りごとを受け付けています。さまざまな交流を通じて、顔の見える環境を整えています。



(左)堀井伸夫さん、(中)今井典子さん、(右)河西英雄さん



▲2019年、40年ぶりに開催された盆踊りの様子

INFORMATION

助っ人川原

相談・地域の困りごとを地域ボランティアで解決する“住民による”“住民のための”助け合い事業です。

相談窓口／毎週火曜・木曜 9時～12時
場所／川原コミュニティセンター
電話相談／052(752)0016
080(4840)0635